

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公開番号】特開2007-181659(P2007-181659A)

【公開日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-289539(P2006-289539)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 0

A 6 1 B 5/05 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月13日(2009.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

3次元画像データを所定の回転軸を中心として投影角度の異なる複数の投影画像を作成する画像処理手段と、前記画像処理に必要な指令を受け付ける入力手段と、前記投影画像を表示する表示手段とを備えた画像処理装置において、

前記画像処理手段は、前記投影処理に必要なパラメータと、複数の3次元画像データに対し同一のパラメータを用いて投影処理を行う一括処理モードを設定する手段を備え、前記一括処理モードにおいて、前記設定されたパラメータを用いて前記複数の3次元画像データの投影処理を行い、複数の投影画像を合成して前記表示装置に表示させることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記パラメータは、投影角度の増分を含むことを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記パラメータは、投影処理の回転軸の、画像データの座標軸に対する角度、オフセット値を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

核磁気共鳴により被検体を撮像する撮像手段と、前記撮像手段に対し前記被検体を相対移動する移動手段と、前記撮像手段および移動手段を制御し、前記被検体の広範囲の領域を複数の領域に分けて撮像を行う制御手段と、前記複数の領域の撮像によってそれぞれ得られた測定データから3次元画像データを作成すると共に前記3次元画像データを処理する画像処理手段とを備えた磁気共鳴イメージング装置において、

前記画像処理手段として、請求項1ないし3いずれか1項に記載の画像処理装置を備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項5】

前記複数の3次元画像データは、マルチステーション撮影によって取得された被検体の体軸方向に並ぶ画像データであることを特徴とする請求項4記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項6】

前記複数の3次元画像データは、血管撮像によって取得された被検体の血管画像であることを特徴とする請求項4または5に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項7】

3次元画像データを所定の回転軸を中心として投影角度の異なる複数の投影画像を作成する画像処理方法において、

投影処理に必要なパラメータを設定するステップと、

複数の3次元画像データに対し、設定された同一のパラメータを用いてそれぞれ投影処理を行うステップと、

複数の投影画像を合成するステップとを備えたことを特徴とする画像処理方法。

【請求項8】

複数の3次元画像データを記憶する手段と、

前記3次元画像データから投影像を取得する手段と、

前記投影像を作成するための投影パラメータの設定を受付ける手段と、

前記投影像を表示する手段と、

を備えた画像処理装置において、

前記投影像取得手段は、前記設定された投影パラメータを前記複数の3次元画像データ間で共有して、該複数の3次元画像データの各々から投影像をそれぞれ作成することを特徴とする画像処理装置。

【請求項9】

(a)複数の3次元画像データを取得して記憶するステップと、

(b)投影パラメータを設定するステップと、

(c)前記設定された投影パラメータを用いて、前記記憶された3次元画像データの一つから投影像を作成するステップと、

(d)前記記憶された3次元画像データを変えて前記ステップ(c)を繰り返すステップと

、

を有する画像処理方法。